

## もっと安心農産物 春菊栽培暦

令和5年

JAちばみどり旭露地野菜部会 もっと安心生産班

1. 土づくり

完熟堆肥を必ず使用し土作りを行なう。(入手先、原料の確認出来る物)

2. 施肥 (化学肥料由来の窒素成分は、11.5kg以下)

		肥料名(N-P-K)		施肥量(10a)	備考	
基肥	選択	・ 有機アグレット825 (8-2-5 有機100%)		300kg	土壌診断により 施肥量の増減 *有機配合は栽培に合 わせ選択する*	
		・ 夢ぼかし (6-5-3 有機100%)				
		・ ジャストフィット(化成窒素1.2%) (7-3-1)				
		・ くみあい化成8号 (8-8-8)				
	K-1加里33(加里33%・硫黄10.7%石灰10.2%苦土4.1%ホウ素0.14%)		60kg			
	硫マグカール(苦土12.5%・カルシウム9.6%・ケイ酸6.8%)		60kg			
	ウマミノール *総合微量元素+海のミネラル(石灰25%・苦土6%・リン酸9%・カリ4%)		60kg			
	みどりマグ(苦土20%)		100kg			
	粒状サンライム(アルカリ分46%)		120kg			
	畑のカルシウム(硫酸カルシウム 28.6%)		120kg			
	腐植酸(フミン酸資材)		200kg			
レスキュー(ケイ酸鉍物質資材)		105kg				
追肥	有機	選択	・ 夢ぼかし (6-5-3 有機100%)		20~40kg	1作あたりの使用上限なし
			・ ジャストフィット(化成窒素1.2%) (7-3-1)			
			・ ミラクルアミノ(化成窒素5.8%) (10-0-4.5)			
	化成	*くみあい化成8号 (8-8-8)		20~40kg	1作あたりの使用上限あり	
	液肥	アミアタック (6-5-5)		20~40kg		
		グット・アミノ1号 (8-3-2)		20~40kg		
		トミー液肥グリーン (6-8-8)		20~40kg		
トミー液肥ブラック (10-4-6)		20~40kg				
葉面散布	カルマグホウ素PK		1000倍	葉先枯、芯グサレ対策		
	B作		1000倍			
	セルキープ		1000倍			
	ボロンセブン		1000倍	生育促進		
	森のエキス		1000倍	成り疲れ、残留硝酸窒素対策		
液肥灌水			1 <sup>リットル</sup> /10a	寄生センチュウ、連作障害対策、発根促進		

(注)液肥灌水設備がなく、\*くみあい化成8号のみで追肥を行う場合、1作あたりの使用上限は140kgとなります。

3. 防除 ( 化学合成農薬使用成分回数は、8回以内にする。 )

月/旬	作業	病虫害の発生時期	薬剤名	濃度・使用量	使用時期	備考
7~8月	土壌消毒		① バスアミド微粒剤	20kg/10a	播種21日前	○ 夏季太陽熱消毒もしくは土壌還元消毒の実施
			② カルホス微粒剤F	6kg/10a	定植時	
9月	播種育苗		③ ストロビーフロアブル	3000倍	収穫14日前	○ 育苗ハウスは防虫ネットを張り、害虫の侵入を防ぐ
10/上	移植	ア ブ ラ ム シ  ア メ ハ モ グ リ バ エ  ヨ ト ウ 類  炭 そ 病 ・ べ と 病	④ ベストガード粒剤	9kg/10a	定植時	○ 定植時または生育期のみ使用可能なので直播きで土壌混和させるのは使用できないので注意。
10/中			⑤ アファーム乳剤	2000倍	収穫7日前	<b>害虫対策</b> ○ ハウスの喚起、出入口には、ネットを張り外部からの害虫の侵入を防ぐ。 ○ ハウス周辺の雑草は害虫の棲みかになるので除草を実施する。 ○ 粘着板を吊るし害虫を捕殺する。(ハモグリバエ防除イエロー)
10/下	⑥ アミスター20フロアブル		2000倍	収穫前日	○ ハウス内で <b>春菊以外の作物を作らない。</b>	
	⑦ ウララDF		4000倍	収穫前日		
11/上	収穫始め		⑧ ディアナSC	2500~5000倍	収穫前日	<b>病害対策</b> ○ 病害発生株は直ちに抜き取り、圃場外に穴を掘って埋める。 ○ 灌水を一度多量に行うと菌核病、炭そ病が発生するので、低圧少量で回数を増やす。 ○ 菌核病、炭そ病は地表面の病原菌が灌水で土壌から跳ね上がり感染する。また、ハウス内の湿度が高くなると蔓延しやすいので、適度に喚起を行う。 ○ 株が混みあうと菌核病が発生しやすいので、株間は広めにとり、株元の通風をよくする。
11/中						
12月						
1月						
2月						
3月						

病害虫の発生状況により選択

**\*化学農薬にカウントされるもの\***

- ★バスアミド微粒剤 (20kg/10a、播種21日前:土壌混和、1回)……一年生雑草・萎凋病
- ★カルホス微粒剤F (6kg/10a、定植時:土壌混和、1回)……ネキリムシ
- ★ベストガード粒剤 (9kg/10a、定植時:土壌混和、1回)……マメハモグリバエ・アブラムシ・コナジラミ類
- ★ガードベイトA (3kg/10a、生育初期:株元散布、2回)……ネキリムシ
- ★アフーム乳剤 (2000倍、収穫7日前、2回)……アザミウマ類・ハモグリバエ類・シロイチモンジヨトウ
- ★アクタラ顆粒水溶剤(2000倍、収穫14日前、3回)……アブラムシ類・ナモグリバエ
- ★ウララDF (4000倍、収穫前日、2回)……アブラムシ類
- ★エビセクト水和剤(2000倍、収穫14日前、2回)……マメハモグリバエ
- ★カスケード乳剤 (2000～4000倍、収穫7日前、2回)……アザミウマ類・ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・マメハモグリバエ
- ★コテツフロアブル (2000倍、収穫14日前、2回)……ハスモンヨトウ
- ★スタークル顆粒水溶剤(アルバリン) (3000倍、収穫前日、2回)……アブラムシ類
- ★ディアナSC (2500～5000倍、収穫前日、2回)……オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ハモグリバエ類
- ★プレオフロアブル (1000倍、収穫前日、2回)……ハスモンヨトウ
- ★モスピラン顆粒水溶剤(8000倍、収穫3日前、2回)……アブラムシ類

◎アミスター20フロアブル (2000倍、収穫前日、2回)……炭疽病

◎ストロビーフロアブル (3000倍、収穫14日前、3回)……炭疽病

**注意** 化学合成農薬として使用成分回数にカウントされるため、防除欄記載農薬との選択により活用してください。

備考

**\*化学農薬にカウントされないもの\***

- ★サフオイル乳剤 (300倍、前日、制限なし)……コナジラミ類・ハダニ類・チャノホコリダニ・うどんこ病
  - ★ムシラップ (500倍、前日、制限なし)……アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病
  - ★フーモン(1000倍、前日、制限なし)……アブラムシ類・ハダニ類・コナジラミ類・うどんこ病
- 注意** 水分中の石灰分によっては汚れに注意が必要。
- ◎ボトピカ水和剤 (2000～4000倍、発病前・初期、制限なし)……灰色かび病  
《ボトピカ水和剤は微生物農薬なので、注文品となります。》
  - ◎コサイド3000 (2000倍、制限なし、制限なし)……軟腐病・黒腐病・斑点細菌病
  - ◎ドイツボルドーA (1000倍、制限なし、制限なし)……べと病・軟腐病
  - ◎Zボルドー (500倍、制限なし、制限なし)……べと病・軟腐病・黒腐病
  - ◎ジーファイン水和剤 (1000倍、前日、制限なし)……軟腐病・白さび病・うどんこ病
  - ◎ハーモメイト水溶剤 (800～1000倍、前日、制限なし)……うどんこ病・灰色かび病・さび病
- ★エスマルクDF (1000倍、前日、制限なし)……オオタバコガ・ヨトウムシ
  - ★ゼンターリ顆粒水和剤 (1000倍、前日、制限なし)……アオムシ・コナガ・ヨトウムシ
  - ★デルフィン顆粒水和剤 (1000倍、前日、制限なし)……オオタバコガ・ヨトウムシ

☆みんなで守ろう生産基準